

事業報告書

国の令和4年度経済見通しでは、我が国の経済は、経済財政運営の基本的態度に基づき、経済対策を迅速かつ着実に実施すること等により、実質成長率は3.2%程度と見込み、公的支出による経済下支えの下、消費の回復や堅調な設備投資に牽引される形で、民需主導の自律的な成長と「成長と分配の好循環」の実現に向けて着実に前進していくとしていました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあったものの、引き続き持ち直しの動きに弱さも感じられました。感染症に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されましたが供給面での制約や原材料価格の動向による下振れとなりました。

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響とロシアのウクライナ侵攻により世界情勢は不安定化を増し日本経済をはじめ私たちの生活にも大きな影響を与えました。新しい生活様式への対応や物価高が止まらない状況下でも会員皆様のご理解とご協力により事業を推し進めた1年でした。

センターは地域の日常生活に密着した就業機会を会員に提供することはもとより、会員に限らず地域に暮らす高齢者の誰もが気軽に参加できるセミナーなどを積極的に展開し高齢者の「健康維持増進」「生きがいづくり」「社会参加」など、地域社会の活性化に取り組んでまいりました。

事業運営については、令和4年度事業計画に基づいて、東員町をはじめ関係機関のご支援ご指導のもと、多様な就業形態に対応するとともに就業機会の創出・拡大、会員拡大の推進、認知度向上に取り組んでまいりました。

運営経費については、国及び東員町の補助金を基盤として事業を展開していますが、国・地方の財政事情が厳しい中であって、シルバー事業に対し最大限のご理解をいただき、補助金の交付を受けました。

会員の増強については、ポスティングや広報紙を通じて会員募集を行い、毎月の入会説明会や女性入会促進のための交流事業を開催し、センターの制度・趣旨などの説明を行い入会勧奨に努めました。

普及啓発としてセンターの紹介、会員活動状況がケーブルテレビ放映や町広報にも掲載され、町民の皆様に当センターの活動を発信させていただくことができました。

また、健康生きがいつくりの「シニア活躍セミナー」、仲間づくりを図るための互助会活性化事業や女性部会活動により、就業機会の提供のみならず、退会抑制や健康維持に繋げていただくことができました。

安全就業対策については、毎月発行の会報で事故事例紹介や草刈り作業中の事故防止を図るための刈払機の取扱い講習、安全委員会による安全就業パトロールを行い安全就業意識の高揚を図り、事故防止に努めました。

令和3年度から第4次中長期計画（令和5年度から令和9年度）の策定に取り組み、新たな基本目標として、「生き生きと元気で働く仲間づくり」「地域に根差した仕事づくり」「安全・健康、笑顔で働く職場づくり」「取り組みを支える基盤づくり」を設定し、「自主・自立」の組織理念、「共働・共助」の事業理念に基づき、公共性・公益性を発揮し、これからも高齢者の希望に応じた就業機会の確保を図り、活力ある地域社会づくりに貢献できるように様々な施策に取り組むことといたしました。

今日までの町当局及び関係機関の適切なご指導・ご支援、会員の協力と町民の皆様の深いご理解とご支援に感謝申し上げ、令和4年度事業の概要について報告いたします。

1 適正就業の推進と安全就業の徹底

(1) 適正就業

厚生労働省の「適正就業ガイドライン」に基づき発注者と会員にその周知と理解を求め適正就業に努めました。

(2) 「しるばーだより」の活用

毎月発行する「しるばーだより」でその時々に応じた健康管理方法や交通ルールの徹底、事故事例（本年度下期から全国の重篤事例も）などを掲載し安全意識の向上に努めました。

(3) 安全パトロール

コロナ禍で就業先への巡回が制約を受ける中ではありましたが、安全第一・事故ゼロを目指して、安全・適正就業委員会委員による会員就業現場への安全パトロールを9回実施しました。安全就業への意識の徹底はもとより、委員と会員のコミュニケーションが深められる機会となりました。

(4) 健康管理

健康管理の注意喚起として「しるばーだより」に新型コロナウイルス感染症対策、インフルエンザ対策、熱中症対策や町総合検診の受診勧奨を掲載しました。また、塩分補給物品を就業現場に届けたりセンター窓口に配置しました。

(5) 講習会

コロナ禍において2年間見送られていました普通救命講習を東員消防署の協力を得て実施しました。また、草刈り時の飛び石やキックバック防止の刈払機取扱講習を実施しました。

(6) 安全就業スローガン

令和5年度から3年間の安全就業スローガンの募集を行い「慌てるな 手もと足もと まず確認!」「忘れるな 指差呼称で 安全確認」が安全・適正就業委員会で選考されました。

2 普及啓発活動

(1) 広報誌の発行

会員活動紹介や一般参加可能な各種セミナー案内など、写真を多く取り入れ見やすい編集に心がけた広報誌「かわら版」を発行し町内各

世帯に年2回配布しました。

第58号 令和4年7月21日発行

第59号 令和5年1月8日発行

また、会員対象にセンター活動の主な情報提供を目的に会報「しるばーだより」を読みやすく親しみやすく工夫し毎月配布しました。

(2) メディアを活用した情報発信

地域貢献活動、普及啓発活動、セミナーなどがケーブルテレビ放映や町広報、保育園・幼稚園だよりに掲載され、町民の皆様にセンターの活動を発信することができました。

ケーブルTV放映

・健康体操	7月15日～7月21日
・とういんシルバーの日	10月21日～10月27日
・美容教室	11月4日～11月10日
・稲わらリースづくり	12月16日～12月22日
・もちつき大会	1月5日～1月12日

広報とういん掲載

・とういんシルバーの日	12月号
・もちつき大会	1月号

(3) シルバーの日

毎年10月に全国で展開されるシルバー人材センター事業普及啓発促進月間に併せ、地域社会への貢献を実現する施策の一環として、また、センターの存在を広くアピールし社会の認識の高揚を求めるため「とういんシルバーの日」を定め10月1日(土)に保育園・幼稚園園庭の除草、清掃作業を実施しました。

(4) もちつき大会

地域の方々と交流を図りシルバー事業を知っていただくことを目的に「しるばーもちつき大会」を12月10日(土)に開催しました。天候にも恵まれ500名程の方が来場されました。

(5) 他団体催事への参加

中部公園で開催された商工祭や文化センターで開催された健康フェアにブースを設け、センター活動紹介や物販を行い来場者に広報できました。また、シニア芸能大会にコーラスの集いが参加し日頃の

練習の成果を発揮し会場から大きな拍手をいただきました。

3 女性部会活動

就業に限らず女性会員の活動の場を広げるため各種作品づくり、四季折々のお菓子づくり、味噌づくりやコーラス活動に取り組み、各種普及啓発事業において女性部会として積極的に活動展開しました。

4 会員増強

(1) 会員数

入会を希望する高齢者を対象に、センターの概要及び就業のしくみ等の説明会を月2回開催（保健福祉センター及び笹尾コミュニティセンター）し参加者は36名（男性20名 女性16名）でした。

新規入会者26名（男性14名 女性12名）に対し退会者が40名（男性30名 女性10名）で差し引き14名減となり年度末現在の会員数は270名（男性186名 女性84名）です。女性会員の比率は31.1%となりました。

(2) 女性交流会

女性会員の加入促進を図るため、女性部会が中心となり、麦わら細工、美容教室、着物で茶話会、菓子づくりの女性交流会を開催し入会説明会や各種セミナーの案内を行いました。

(3) シニア活躍セミナー

会員に限定することなく概ね60歳以上の高齢者を対象に健康体操、リースづくりなど8講座を開催しました。セミナー終了後のアンケートではセンターに興味を持ったと言う回答も得ています。

(4) チラシ配布

会員募集のチラシを新聞折り込みや各戸へのポスティングで配布しました。また、ホームページの充実を図りセンター事業等の紹介及び入会希望者への情報提供に努めました。

- ・新聞折り込み

神田地区・稲部地区・三和地区 5月、10月

- ・ポスティング

5 第4次中期計画策定

第3次中期計画が令和4年度末で終期を迎えることから、令和3年度から策定委員会において計画策定に取り組み令和4年度に本冊と概要版が完成しました。

6 独自事業

会員が受託事業だけでなく自ら事業に取り組み、水引工芸品・稲わら細工(リース・正月飾り)の販売を行いました。

7 研修講習事業

主に会員の安全確保・技能向上を目的に講習会を開催しました。

- ・介護のおしごと入門講習(高齢者活躍人材確保育成事業)

9月14日(水)15日(木) 保健福祉センター

- ・稲わらリース講習 10月8日(土) 保健福祉センター

- ・公園管理就業体験(高齢者活躍人材確保育成事業)

10月24日(月) 笹尾中央公園

- ・刈払機取扱講習 12月7日(木) 笹尾中央公園他

- ・普通救命講習 12月7日(木) 商工会館